政府豫算は昭和十年度―に於いて二十二億一千五百萬圓を組み、内經費として臨海事々費が四億七千百萬圓、臨時として兵備改善費が三億六千百萬圓、滿洲事件費が一億八千萬圓、愚組總額が一億七千三百萬圓、これ等は我々勤勞無産大衆とどんな關係にあるか、而かも最近年を追ふて顯著する負擔增額としては僅かに八千百萬圓を組んでゐるに過ぎない。

國民の疲弊の生活に敢えて冷厳を鞭撻し、政の疲弊の中枢的な挨拶をやつて其の場を繕つてゐる、而かも國々しくも農民道場、農道會、青年學校等の設立の反動政策を以て大衆の窮乏化を偽瞞し闘爭の鋒先をそらしてゐるそして復興内相を中心とする新官僚と軍部統制派と結託して、産業組合運動を擁大し、ファッショ統制を將來にむかつて確立せんとしてゐる。天皇機關說の沒落はファッショ勢力と自由主義の敗退を物語る尤も顯著な現象である。皇

財團法人 協調會福岡出張所

臣内閣の最後の番頭たる岡田首相の殘燭は明日は果何なる運命にあるか、、、年行詰り、、、、、

以上は日本國内情勢の概略である。

二、九州地方の情勢

我々の闘爭舞臺たる九州は！日本重工業の心臓たる北九州、筑豐炭田、四十五萬の勞働者は敵愾とツルハシを持つて資本の風に吹きまくられてゐり

農村は昨年襲つた六十年來未曾有の大旱魃と、今年に入つて暴風の如く疾風に襲つた暴風雨のために九州全土は戰禍の後のやうに荒らされてゐる。殊に我が戰闘たる福岡、佐賀、二十餘萬戸の農家は三度び此の惡魔の如き暴風雨、暴風雨の洗礼を受け被害を蒙むつた上に、一部地方の農家が本年續いたために、メイ虫が發生

財團法人 協調會福岡出張所